

どすこいかわら版

発行 墨田区 編集 NPO法人て一ねん・どすこい倶楽部

素敵なお店 Keiママ

先日、向島のとある入り組んだ路地の先にある、「Keiママ」というお店を訪ねました。「Keiママ」の店主である野村夫佐恵さんからお話を伺いました。

お店は、自宅を兼ねた「ケーキとごはん」を楽しめる喫茶店風で、仲良しな間柄であれば12名ほど、知らない者同士だと5名ほど座れるスペースがあります。この日はお休みだったので、お客さんの心配は無用との

ケーキとかコーヒーとかのイメージは湧かなかったです。ですので、海外旅行をしたからではないです。」とのこと。きつと、子供の頃から抱いていた夢が実現したのだと、記者は感じました。

「お店の名前のKeiは



どうして付けたのですか?」と尋ねると、「私の名前は夫を助け恵まれる子供と願って父親が命名してくれましたが、恵はKeiとも読むので、それでKeiママとしました。」と答えてくださいました。

Keiママのお話は沢山

あるので、今月から2面に「山谷いく」というペンネームでシリーズで掲載することにしました。

再度「何がきっかけでケーキ屋を始めたのですか?」とお尋ねすると、「田舎で育った私は、中学生の頃から、東京は、ケーキやコーヒーを楽しめる、夢のような街という、イメージを持っていました。後にヨーロッパ旅行しましたが、特に



「ところでお店の宣伝を

お母さんはケーキ屋「Keiママ」 その1 山谷 いく

よし、ケーキ屋をやってみよう！
帰る道すがら決意は固まっていた。

41歳になったばかりのある朝、
パートで働く仕事を探しに墨田職業
安定所へ出かけた。安定所の求人カー
ドをめくりにくくってやっと一枚の
カードを選んだ。この会社なら家か
らも近いし、コンベヤーで流れる機
械部品を選り分ける単純作業なので、
幼い子供を抱えて働くには責任は重
くない、ちょうどいい仕事と判断し
たからだった。

具体的な話を聞くために、面接官
と向かい合つて椅子に座る。話が進
む中で、履歴書に記された私の年齢
に気付いた面接官が「ちょっと待っ
てください、相手の会社に聞いてみ
ますから」と、その会社の人事部に
電話を入れてくれた。2歳と5歳の
娘に31歳の夫の年齢から推測して、
まさか41歳とは思わなかったかもし
れない。たとえ勘違いしたとしても
許される勘違いではある。私の希望
したその会社には40歳までと、年齢
制限が付記してあった。「ああ、やっ
ぱりだめですか。とても元気そうで、

41歳には見えないんですけどね」。

面接官は粘ってくれたが、会社の規
定は曲げられないと人事担当は答え
たようだ。申し訳なさそうな年配の
面接官に向かって、私はそれまでで
上の笑顔を見せて、「また、他を探
しますから」と、さほど気にしてい
ない素振りです席を立ったものの、内
心穏やかではない。41歳、この年齢を

会社は必要としないという。それも、
正社員ならばともかくパートなので
ある。
35歳で結婚し、子供には恵まれた
が、夫は若く収入も少ない。これか
らもうひと頑張り、安定所を訪ね
た矢先だっただけにショックは大き
く、怒りさえも込み上げてきた。40
歳以上の求人カードなんてそうそう
ありはしない。束になったカードの
中からやっと捜したそのカードを元
いでいた。

ケーキを売る仕事に挑戦してみよ
う。もう、自分でケーキ屋をやるし
かない。以前からケーキ作りが好き
で、趣味でケーキ教室に通ったこと
があり、通信教育でも学んでいたこ
ろには、面接直後のあの暗さと落胆
は何処へ、鼻歌まじりで自転車をこ

手軽にクッキング

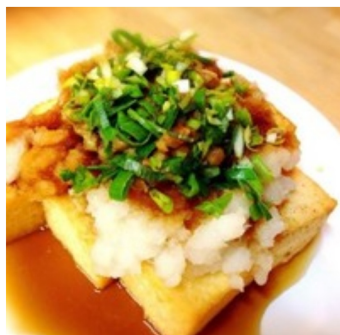
102

<4月のおかず>

「焼き野菜と厚揚げのおろし納豆」

<材料> 2人分 (1人分227kcal)

厚揚げ	1枚
大根おろし	100g
納豆 (小)	1パック
なめたけ (瓶入り)	大さじ2
しょう油	小さじ1
付け合わせ野菜	
人参輪切り	6枚
ししとう	6本



<作り方>

1. 人参は輪切りにする
2. ししとうは切り目を入れておく
3. グリルで、人参・ししとう・厚揚げをこんがり焼く
4. 厚揚げは食べやすい厚さにスライスする
5. 大根おろしを作り、納豆・なめたけ・しょう油を加えて混ぜる
6. 器に4の厚揚げを並べて盛りつけ、5のおろし納豆をかける
7. 焼いた野菜を添える

※野菜は焼くと甘みが増します。かぼちゃ・生椎茸・竹の子・玉ねぎなどもお試しください。

(協力：食育支援部)

とすこい倶楽部IT支援部でボランティア活動 吉田 修

私は、現役の頃からパソコンを使用していたので、最近パソコンを使い始めた高齢者よりは、ずっとパソコンのことは詳しいと自負しています。退職して直ぐボランティア活動を始めて、パソコンに關係ないこともいろいろしてきましたが、パソコンの相談を受けて問題を解決するのが、一番楽しく感じています。謎解きのように、難しい問題であればあるほど、やる気が出るし、修理できた時は最高の気分になれるのです。しかし、苦手なこともあります。例えば、使い方について、何度も同じことを質問されると、だんだんと気分が優れなくなってしまうのです。そういう時は、メモを取ってもらうようにお願いしています。

ある時、印刷ができないという相談がありました。訪問すると、プリンターは動いているが、文字が全く印刷されない様子。最近何か変わったことをしてないですかと聞くと、プリンターのインクが無くなっているうちに5色、全部新



くしたと云います。念のため見ると、全くの新品であることが分かりましたが、使用前にインクが漏れないようにインクの出口に貼つてあるテープが貼ったままでした。それを取り去り1件落着です。

変わったところでは、北京から来日した方が持参したノートパソコンが動かないとのことでした。訪問すると、確かに、電源を立ち上げる時に停止してしまっています。中身は中国語ですが、製品は日本のメーカーのもので、インターネットでそのパソコンの仕様を調べると、どうもBIOS（バイオ

ス）の設定が正常でないことが分かりました。この機種では、この再設定をするには、内臓の時計用のバッテリーを外して、半日位、内部に溜まっている電気を放電しなければならぬとのこと、一時的に自宅に持ち帰ることにし、翌日無事に修復できたパソコンをお届けできました。

たまに、突然、電源が落ちて、画面が真っ暗になる症状のパソコンが持ち込まれて来ます。短時間でも電源が上がるのであれば、パソコンの裏側に耳を近づけて音を確かめてみます。電源回路の発振音とか、内臓ディスクの音の他に、空冷ファンの音が聞こえるのですが、大抵は、ファンが不安定に回っています。長年の使用でホコリが溜まって回転が鈍っている可能性が大了。回転が止まると、中央演算回路が発生する熱で回路が破壊されないように電源を自動的に落とす仕組みになっているのです。しかし、ファンが悪いことが分かっても、簡単に直すわけにはいきません。埃が固まってしまつて、掃除機で簡単には吸い出せないことがよくあります。その時は、パソ

コン本体を分解します。ファン自身の故障で交換が必要な時もあります。古いパソコンの部品は入手が困難なことがあり、私は、ファンに限らずパソコンの交換部品は大抵、秋葉原のパソコンショップ等で調達しています。

ここまで、パソコンのハードウェアの故障について、お話ししましたが、ウィンドウズシステムやプログラムのバグ（問題）もありますので、私の興味は尽きることがありません。

「シニア人材バンク

登録者募集中」

ボランティア活動をしたい方の登録と依頼に応じた派遣を行っています。

パソコン、麻雀、将棋、子育て支援、日本語支援、家事援助、生活支援、健康教室のお手伝い、各種講座、講演会の企画から会場の準備作業など、どなたでも気軽に参加できる、さまざまな活動をしています。

皆様の知識、経験、特技、趣味等を地域で活かしてみませんか？

～「セカンドステージ支援事業」について (PR) ～

このかわら版の読者の方は、年4回開催されるセカンドステージセミナーや、年6回開催される生きがい講座に参加されたことがあると思います。あるいは毎月2回配信されている、メールマガジンの読者の方かもしれません。「既に、てーねん・どすこい倶楽部で活動しています。」と、おっしゃる方かもしれません。このような活動をしている人は、会社を定年退職した方や、子育てが終わり時間の余裕ができた主婦の方々です。「セカンドステージ支援事業」というのは、墨田区の施策の1つで「元気で生きがいに満ちた高齢期の暮らしを支援する」に基づいた活動なのです。

このような話をしている私は、現在76歳で、61歳で定年退職しました。その時初めて気づいたことなのですが、それまで毎日、会社と自宅の往復だけをしてきたために、近所付き合いが全くないということでした。これからどうしたら良いのか悩んでしまいました。

ある日、妻から、「区役所で、何か面白いことを始めるみたいよ!」と云われて、早速、高齢者福祉課を訪ねると、今、パソコンができる人を探しているとのこと。早速、グループの会合に参加して分かったことは、みんな私と同じような悩みを持ち、何か一緒にできることがないかと集まった人達だということでした。それからは、区の担当者の支援を受けながら、皆で定期的に会合を開き、どんな活動をしてみたいか、1年位かけて話し合いをしました。その成果が、最初にお話しした活動なのです。

NPO法人てーねん・どすこい倶楽部は、この支援事業の運営を委託されて、様々な活動をしています。皆さんの中には、きっと私は、資格を持っていないし、何もできない、と決め込んでいる方がいらっしゃるかもしれません。しかし、このような話をしている私でも、資格は何も持っていませんが、楽しくみんなと一緒に様々な活動をしています。事務所の電話受付、イベントの会場づくり、スマホやパソコンの勉強会。外国人へ日本語を教えたり、子供たちと遊んだり、料理教室のお手伝いをしたり、このかわら版1面の取材をしたり、毎日楽しく地域で過ごしています。これこそ、「セカンドステージ支援事業」の施策のおかげと、日々感謝しています。

でも、やっぱり、私は何もできないわ!と云う方に、一言お願いです。どすこい倶楽部のイベントに参加した時には、ぜひ、あなたの笑顔を見せてくださいね!



発行 墨田区福祉保健部高齢者福祉課
〒130-8640 東京都墨田区吾妻橋1-23-20
電話 03-5608-6168

編集 NPO法人てーねん・どすこい倶楽部
〒131-0032 東京都墨田区東向島1-17-8
電話 03-5631-2577 FAX 03-5631-2578
(受付時間: 平日午前10時～午後4時)
メール tehnendosukoiclub@jcom.home.ne.jp
ホームページ <http://tehnendosukoiclub.jpn.org/>

編集後記
皆さん、桜が咲きましたよ! 普段パソコン画面を眺めていることが多いい私ですが、この時期は、毎日、咲き具合を確認しに墨田に出かけています。このかわら版が、皆様のお手元に届くまで、咲いているといいですね。